

第61期株主通信

2019年11月1日-2020年10月31日



株式会社オービス
証券コード:7827

CHALLENGE 110

問題意識とチャレンジ精神をもって、より中身の濃いコミュニケーションをとり、改善・改良を繰り返すことで持続的な成長を追求し、企業価値の向上を目指すため、オービスは成長を加速します。

株主の皆様には、格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。この度の新型コロナウイルス感染症に罹患された皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、医療従事者の方々をはじめ、感染拡大防止にご尽力されている多くの皆様に感謝の意を表します。

当期の事業環境は、最重要課題でありました木材事業の営業黒字化へはあと一步届かず未達成となりました。様々な要因がございますが、米中貿易戦争に加え、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で人・物の動きが制限された結果、企業の生産活動も低迷し景況感は大きく悪化しました。ハウス・エコ事業におきましては、引き続き粗利率の向上を目標に、受注時採算性の強化、原価・施工管理の徹底、諸経費削減などの諸施策を実施してまいりました。

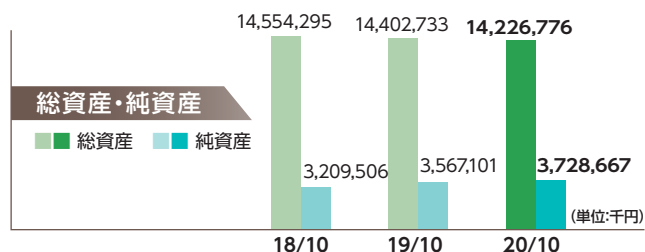
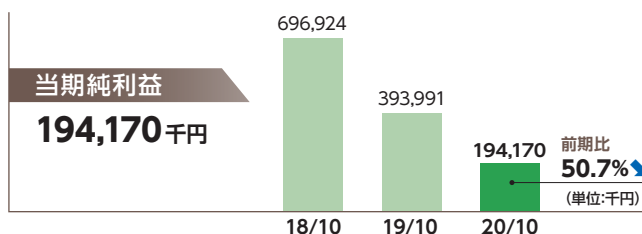
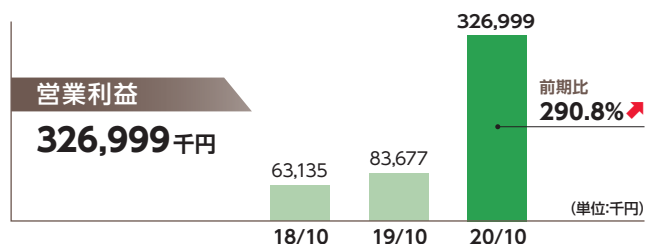
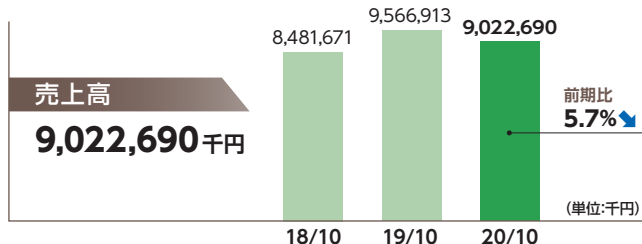
このような状況のなか、当期の業績につきましては、売上高は90億22百万円、営業利益は3億26百万円、当期純利益は1億94百万円となりました。

こうした状況を踏まえ、2019年11月よりスタートさせた中期経営計画「チャレンジ110」において、当社の新たな成長に向けた中期ビジョンを作成し、2022年10月期において「売上高110億円、ROE10%、業務効率10%UP」の達成に向けて積極的な取り組みを続けていくオービスに今後ともご期待ください。

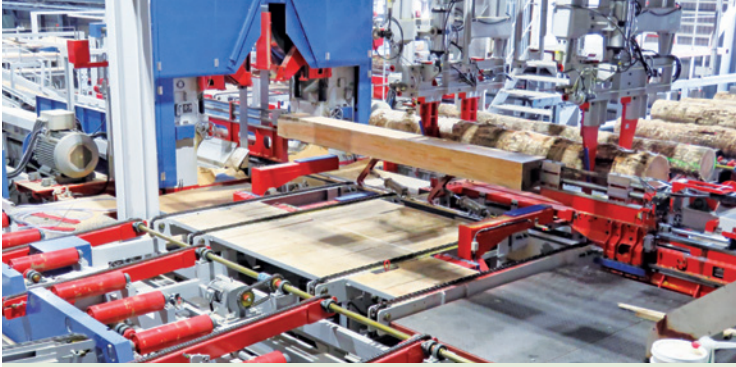


代表取締役社長 中野 勇治

業績ハイライト



木材事業



ニュージーランド松及び国産杉を原材料とした梱包用材等の製造・販売、全国から国産材(杉・桧・北海道カラ松等)を仕入れ、販売を行っています。



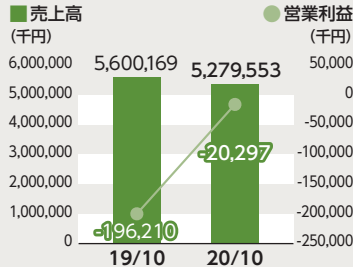
売上高 **5,279,553千円** 減収 (-5.7%)

- 米中貿易戦争の長期化による影響から輸出が減少し、一年を通して梱包用材の受注が低迷しました。
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響により5月～7月の受注が大きく落ち込みました。
- 同業他社の売上高は前期比約3割落ち込み中、当社の製商品出荷量は前期比4.6%減と健闘しました。

営業利益

赤字改善(+175百万円)

- ニュージーランド松のFOB価格及び米ドルが安定的に推移しました。
- 自社工場での生産比率を高めました(原木消化量は前期比6.9%増)。

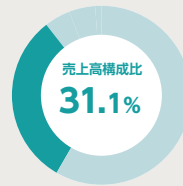


WOOD

ハウス・エコ事業



プレハブハウスの製造・販売、仮設建物等のリース、一般建築及び太陽光発電システムの請負を行っています。



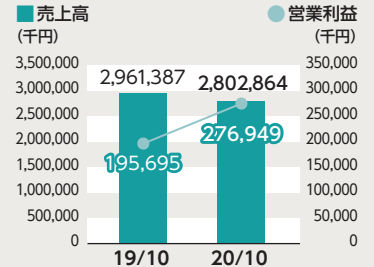
売上高 **2,802,864千円** 減収 (-5.4%)

- 仮設建物等のリースは、官公庁の大型案件の引渡しにより、前期比36.0%増となりました。
- 販売物件は、前期に民間の大型物件の引き渡しがあった反動により、前期比20.2%減となりました。
- Mグレード認定工場取得に向けた営業活動を強化しました。

営業利益

増益(+41.5%)

- 各工事種目において、工程管理や原価管理の徹底により、粗利益率の大幅な改善が図れました。
- 中計3年目(2022年10月期)の目標数値を達成しました。



HOUSE & ECO

太陽光発電売電事業



広島県・山口県・愛知県の3県16ヶ所において、太陽光発電システムで作られた電気を全量電力会社へ販売しています。

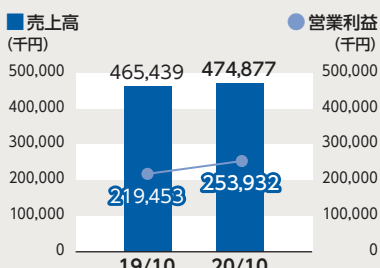
売上高 **474,877千円** 増収 (+2.0%)

- 梅雨入りが例年より約2週間早く長雨の影響もありましたが、一年を通しては天候に恵まれました。



営業利益 増益 (+15.7%)

- 減価償却負担が減少しました。
- 自社の従業員による計画的なメンテナンスを行い、安定稼働を実現しました。



SOLAR POWER

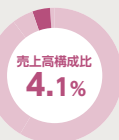
ライフクリエイイト事業



山口県周南市において、ゴルフ場(中須ゴルフ倶楽部)と広島県福山市において、フィットネスクラブ(スポバル緑町クラブ)の運営を行っています。

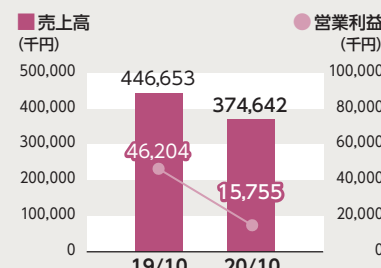
売上高 **374,642千円** 減収 (-16.1%)

- 新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受けました。



営業利益 減益 (-65.9%)

- 減収が大きく影響し、固定費を吸収できませんでした。



LIFE CREATE

不動産事業



広島県広島市及び福山市において、不動産の賃貸(4棟)を行っています。

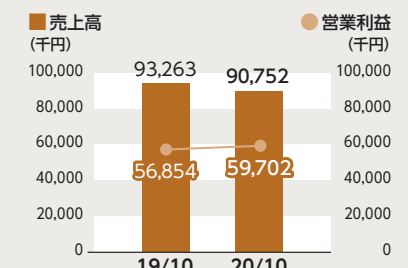
売上高 **90,752千円** 減収 (-2.7%)

- 一年を通して8割に近い稼働率を維持しています。



営業利益 増益 (+5.0%)

- 修繕費が前期比40.4%減となりました。



ESTATE

2019年11月 始動 イチイチ セロ

チャレンジ110

売上高 **110** 億円

基幹事業の強化と拡大
シェアアップ
新たな顧客層の開拓

ROE **10** %

利益の最大化と利益率の向上
資産効率の向上
配当性向を高める

業務効率 **10** %UP

生産効率の向上
フレームの削減
業務棚卸による無駄の削減

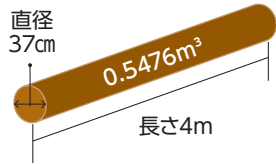
事業強化戦略

木材事業

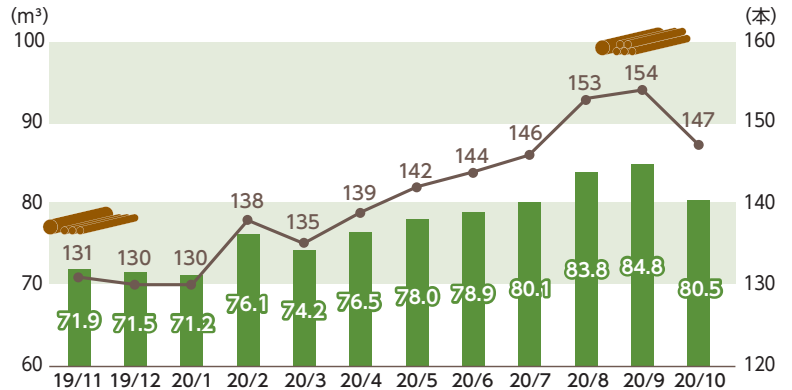
生産効率大幅UP

フル稼働が可能な生産体制を整備しておりますが、米中貿易戦争やコロナ禍において受注環境は厳しい状況にあります。その一方、1時間当たりの原木消費量は、当初計画の70m³を大きく上回る80m³超えを達成し、飛躍的な向上を遂げております。

●原木平均サイズ



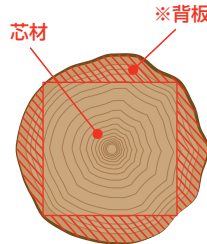
●1時間当たりの原木消費量推移



脇役から主役へ。木材の新しい舞台を開拓

基幹事業である木材事業の強化の一環として、従来の梱包用材等の枠にとられない「新たな販路の開拓」を強化してまいります。それが国産杉の背板※で生産する米国向け「フェンス・エクステリア材」の販売であります。欧米ではフェンス等の素材として木材を利用することが多く、有望なマーケットとして位置付けております。なお、通常の背板製品はサイズが限定的で需要に乏しく販売価格も安価であるため、より価格の高い「フェンス・エクステリア材」に転用することで、平均販売価格の上昇と在庫の削減を図りキャッシュ・フローの更なる改善を目指してまいります。

●原木断面図



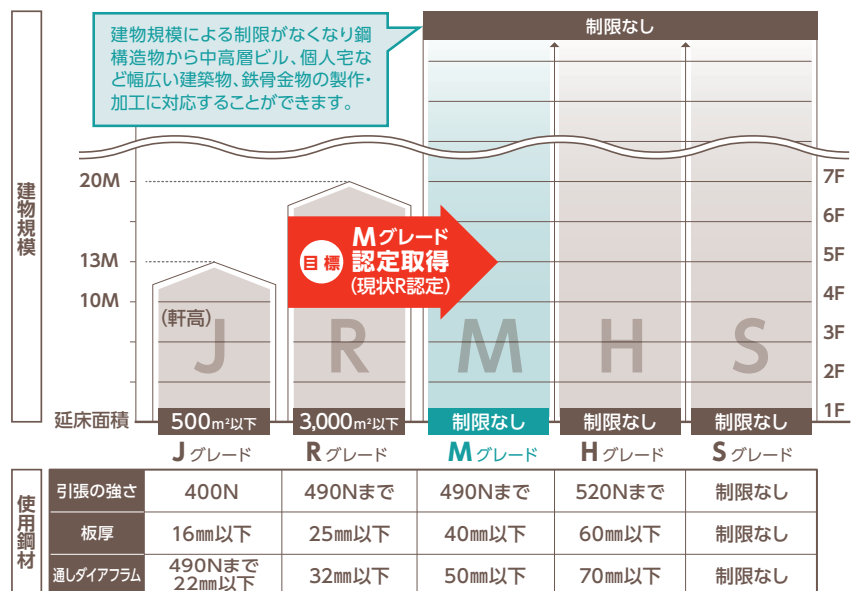
事業強化戦略

ハウス・エコ事業

工場・店舗やゴルフ練習場 バッティングセンターの施工まで 何でもやります！

建築士・施工管理技士有資格者の専門知識やマネジメント能力等の力量がプロジェクトの成否を左右する大きな要素となっており、優秀な人材の採用や育成に引き続き取り組んでまいります。なお、第61期末の有資格者は前期比3名増の24名となりました。

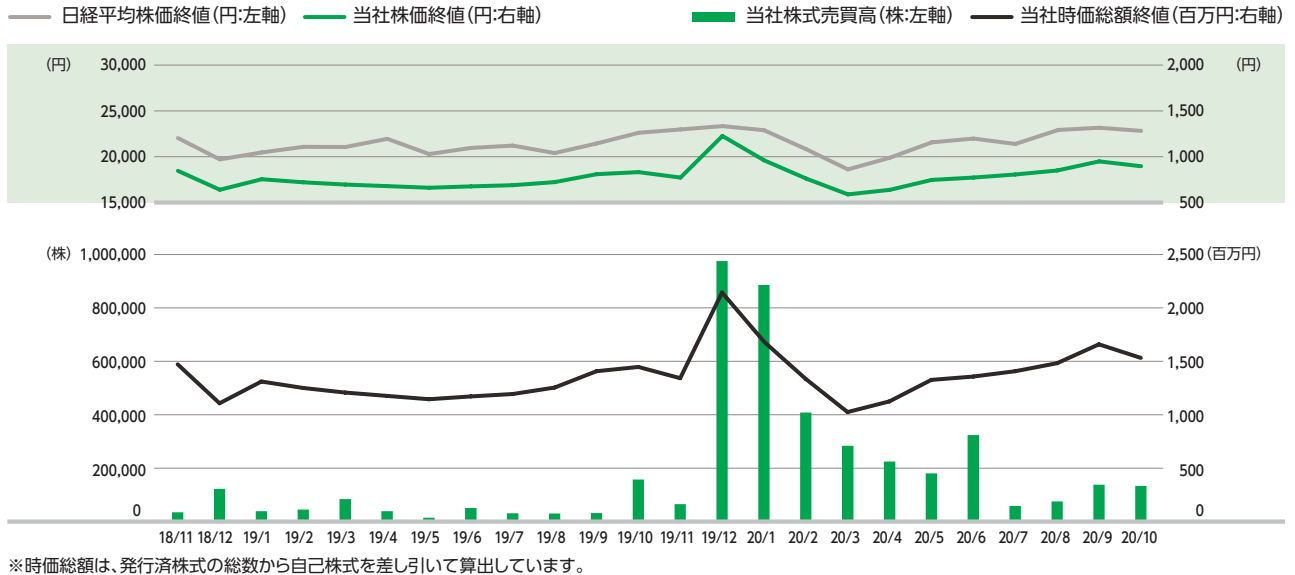
2022年10月期に鉄骨製作工場の性能評価基準におけるMグレード認定(現状R認定)工場の取得(広島工場)に向けた準備を行っております。Mグレードの認定取得により製作する鉄骨は、建物の高さや延床面積などの建物規模による制限が無くなります。今後はより一層、鉄骨製作の内製化比率を高め、製品ラインナップの拡充と競争力の向上に努めてまいります。



施工例



株価・時価総額・売買高の推移



会社概要

(2020年10月31日現在)

商号	株式会社オービス
設立	昭和34年(1959年)11月
資本金	688,390,132円
従業員数	189名 (外、平均臨時雇用者24名※1日8時間換算)
本社所在地	広島県福山市松永町六丁目10番1号
監査法人	有限責任 あずさ監査法人



大株主

(上位10位) (2020年10月31日現在)

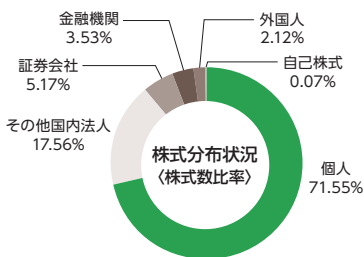
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
中浜 勇治	286,461	16.49
(株)和 幸	164,300	9.46
中浜 勇	142,937	8.23
鹿野産業(株)	56,900	3.27
中村 剛	51,800	2.98
大阪中小企業投資育成(株)	44,000	2.53
中山 恒一	39,000	2.24
SMBC日興証券(株)	25,800	1.48
楽天証券(株)	24,500	1.41
清原 宏昌	20,800	1.20

(注)持株比率は、自己株式1,178株を控除して計算しています。

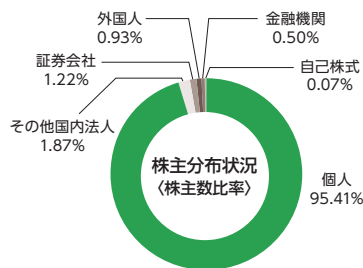
株式の状況

(2020年10月31日現在)

発行済株式の総数 **1,738,596株**
(うち自己株式 1,178株)



株主数 **1,394名**



役員

(2021年1月29日現在)

代表取締役社長	中浜 勇治
専務取締役	梅田 孝史
常務取締役	谷本 泰
取締役	井上 清輝
取締役	土田 光典
取締役	川岡 公次
取締役(社外)	小山 幹夫
常勤監査役(社外)	北村 憲由
監査役(社外)	長井紳一郎
監査役(社外)	近藤 哲英

株主メモ

事業年度	毎年11月1日から翌年10月31日まで
定時株主総会	毎年1月開催
一単元の株式数	100株
基準日	定時株主総会 毎年10月31日 期末配当 毎年10月31日 中間配当 毎年 4月30日
公告の方法	電子公告とします。ただし、事故その他やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法で行います。 [公告掲載URL] http://www.orvis.co.jp/kessan/index.htm
上場証券取引所	東証JASDAQスタンダード
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 (郵便物送付先)
	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 (電話照会先) ☎0120-288-324



株式会社オービス

〒729-0104
広島県福山市松永町六丁目10番1号
TEL 084-934-2621
URL <http://www.orvis.co.jp>



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを使用しています。